

第1学年社会科学学習指導案

日時 平成20年11月13日（木）5校時

場所 1年1組教室

学級 1年1組（男子21名女子19名計40名）

授業者 講師 田畑博之

1 単元名 第4章 近世の日本と世界（第3節 世界の動きと全国統一）

2 単元について

（1）教材観

織田信長による統一事業により中世までとは異なる社会が生まれていくという大きな変化に気づかせる。学習指導要領では、ここでは16世紀から19世紀前半までの歴史を扱い、我が国における近世社会の成立とその変化を学習する。

本単元は3節で構成されており、第1節は①「世界の動きと全国統一」では、織田・豊臣による統一事業とその同時の対外関係を、第2節は「江戸幕府の成立と鎖国」、第3節は「産業の発展と政治の動揺」を把握させる。生徒たちには、歴史とは何かその基礎的な見方や考え方の基礎が培われるように指導したい。

（2）生徒観

小学6年生で歴史は学習しているものの、日本史におけるそれぞれの時代の代表的な人物中心の学習であり、世界の動きとのかかわりやその時代の前後の関係などを考えながら歴史を考える力は中学校の学習の中で育てていかなければならないものである。

日常の授業では教科書を始め、資料集など文章から歴史を学ぶという活動が中心であり、どうしても映像としてのイメージを抱くことができず、流れ、として歴史をつかむことができないでいる。その反面、資料を読む力が育ちつつあり、また調べてみようという意欲も表れてくるようになった。

日常の授業においては、自分の考えを積極的に発言しようとする生徒、歴史的知識が豊富な生徒も少なくないが、全体的に受け見がちな学習態度で、系統立てて考えたり、発表したりすることを苦手に行っている生徒が多い。

（3）指導観

小学校6年生に習った内容を含んだ単元である。また、生徒の興味・関心の高いところであるから、日常の授業においては資料を読む力を育てたい。また、歴史を考える力は中学校の学習の中で育てていかなければならないものであるから、時間をかけて考える力を身につけさせるよう努めていきたい。

3 単元の目標

戦国の動乱、ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎が作られていったことを理解させる。

4 単元の指導計画と評価基準

第3節 世界の動きと全国統一（5時間扱い 本時3／5）

1 結び付けられた世界	… 1時間
2 鉄砲とキリスト教	… 1時間
3 天下統一を目指して	… 1時間（本時）
4 天下統一	… 1時間
5 城と茶の湯	… 1時間

学習内容	評 価 基 準			
	社会的な事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断	資料活用の 技能・表現	社会的な事象についての 知識・理解
1 結び付けられた世界	欧州人がアジアに 来たことを興味を 持ち学習しようと する。	対外関係が活 発であること を考えること ができる。		
2 鉄砲とキリスト教	鉄砲から影響を受 けたことを意欲的 に調べようとす る。			その後の社会の展開につ いて理解できる。
3 天下統一 を目指して (本時)	信長の政治と天下 統一を進めたこと を意欲的に調べよ うとする。		資料を活用し 学習シートへ 記入できる。	
4 天下統一	秀吉の政治は、周 辺に影響を与えた ことを興味を持ち 学習しようとす る。			秀吉の政治と朝鮮とのか かわりを背景に理解し、 その知識を身につけてい る。
5 城と茶の湯		文化が形成さ れたことを考 えることができ る。		この時代の文化を理解 し、その知識を身につけ ている。

5 本時の指導

(1) 目標

①信長の政治と天下統一をすすめたことを意欲的に調べさせる。

【関心・意欲・態度】

②資料・年表などの資料を活用できる。

【資料活用の技能・表現】

(2) 本時の評価

観 点	具体の評価（判断）基準		C：支援を要する生徒 への手立て
	A：十分に満足 できる	B：おおむね満足 できる	
【関心・意欲・態度】 信長の政治と天下統一 をすすめたことを意欲 的に調べようとする。	信長の人物像に関 心を持ち、その生 涯や逸話などを自 分で探す工夫をし 興味を持ち調べよ うとする。	信長の人物像に関 心を持ち、その生 涯や逸話などを調 べようとする。	信長の人物像に関心 をもてるよう、信長 を紹介したり個別指 導したりする。
【資料活用の 技能・表現】 資料を活用し学習シ ートに記入できる。	この時代に冠する 資料・年表などの 資料を活用し学習 シートに書きま め他の資料も自分 で調べ記入でき る。	この時代に関する 資料・年表などの 資料を活用し学習 シートに記入でき る。	参考となる資料など 記入する上での視点 を個別に指導し与 える。

(3) 構想及び個に応じた指導の工夫点

- ・資料などを用意し、生徒の興味・関心を引き立てたい。その後、小グループで学習シートへの記入等を行い学習意欲をもたせたい。また、小グループ後、時間があれば個人で作業したい生徒については生徒の意思を尊重させたい。なお、学習シートは一目で確認できるよう配慮する。

(4) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価【方法】 支援の手立て
導入 5分	1 信長について知る。 2 課題提示	1 信長について知っていることを挙げさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 学習課題 信長の統一事業・対外政策について学習する。 </div>			
展 開 35分	3 信長が急激に勢力を拡大できた理由を学ぶ。 4 信長の武力政策について学ぶ 5 信長の経済政策について学ぶ。	3 信長の経歴を説明する。 4 グループの体制を作り、信長の武力政策の内容を説明する。 【3～4人の小グループ】 5 信長の経済政策について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シートと資料を利用しながら理解を深める。 ・視点が見いだせない生徒や資料の活用がわからない生徒への支援を行う。 ・意欲的に調べ学習に取り組んでいるか。(観察法) 【関心・意欲・態度】 ・学習シート ・資料を説明して、どの生徒でも参加できるように配慮する。
終 末 10分	6 まとめ 7 自己評価と感想記入 (感想発表) 8 次時の予告	6 本時のまとめを行う。 7 本時の自己評価と感想を記入させる。 8 次時の予告を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート 【知識・理解】 ・家庭学習との連携を促す。